

ご挨拶とセミナー主旨

北京・上海

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。この度、PwC中国日本企業部では、「不正対応、ガバナンス強化及びリスク管理」に関する無料相談会を開催させていただきます。

近年、グローバル企業の法令遵守は、株主や投資家に加えメディアや消費者なども高い関心を寄せてきています。こうした幅広い利害関係者に対する説明責任を適切に果たすことは、企業にとっての重要な課題といえます。海外事業展開の拡大や世界的なコンプライアンス強化の動きなどにもない、日系企業において、企業グループが抱える潜在的リスク規模やコンプライアンス遵守の必要性が増大してきており、特にグローバルに事業を展開する企業にとって、リスクマネジメントの高度化、すなわち全社的なリスクマネジメント(ERM=Enterprise Risk Management)の高度化やガバナンスの強化は最優先で取り組むべき経営課題の一つです。特に中国においては、多額の滞留債権のリスク顕在化による損失の計上や経費・資産(原材料、備品、販促品等)の横領や贈賄(公的機関、顧客等)、情報漏洩といったような役員・従業員による不正がよく見受けられ、中国現地法人だけでなくグループ全体に甚大な影響を与える事案が散見され、企業グループにとって、これらのインシデントを未然に防ぐような管理体制を整備することが非常に大きな経営課題となっています。このような場合、各種現地当局や会計監査人対応が必要となる場合も想定され、その対応のために多大な時間、工数及び追加コストが生じ、会計処理や不正そのものによる損失以外に事業に甚大な影響を与える可能性もあります。

PwC中国では、内部統制強化による不正の未然予防、ガバナンス体制・リスク管理体制の強化支援、システムを介した実効性のある内部通報制度構築、通報事案に対する対処、財務数値への影響検討など、様々な側面・段階でサポートさせていただいております。

現在、中国における不正対応について検討されている企業、不正対策を含む自社のガバナンス体制及びリスク管理体制を客観的に把握されたい企業、不正対策に有効な体制について中国地域で特に留意すべき点などについてご興味、ご質問をお持ちの企業の皆様に、ぜひ当無料相談会をご活用いただければと存じます。

今回はPwC日本のリスク・デジタル・アシュアランス部門のメンバーも来中し、親会社視点からのガバナンス体制及びリスク管理体制の強化、日本における最新トレンドについてご紹介させていただきます。また、PwCが開発したグローバル内部通報・フォレンジック・サーベイ機能を有するクラウド型トラストサービス・プラットフォーム(通称:「PLAT」)のご紹介もさせていただきます。「PLAT」は企業グループレベル、統括会社レベルでのリスク・コンプライアンス情報管理を安全に行うための基盤としてご利用いただくことができ、セキュリティが確保された領域で、限られたメンバーが秘匿性の高い情報を安心して取り扱うことができる環境を構築できる最新鋭のテクノロジーを用いたプラットフォームとなります。

ご多忙とは存じますが、下記日時にてお申込みを頂きまして、当無料相談会へご来場頂けます様、謹んでご案内申し上げます。

敬具

PwC Mainland China and Hong Kong 日本企業部統括代表パートナー
高橋忠利

開催概要

開催期間	2019年9月3日(火)~4日(水)午前	2019年9月5日(木)~6日(金)
開催場所	北京	上海
日時	お申し込み時にご希望の日時をお知らせください (各セッション50分程度を予定しております)	お申し込み時にご希望の日時をお知らせください (各セッション50分程度を予定しております)
会場	PwC中国北京事務所 26階	PwC中国上海事務所 11階
会場住所	北京市朝陽区東三環中路7号 北京財富中心写字楼	上海市湖濱路202号 企业天地2号楼 普華永道中心
使用言語	日本語	日本語
参加費	無料	無料
協賛	時事通信社北京支局	時事通信社上海支局

お申込み方法

当相談会開催期間中、ご希望の日時にて下記担当者が個別にご相談に応じます。(相談会の所要時間は50分程度を想定しております)

ご希望の方は、会社名、お名前、役職、ご希望の日時を第一、第二、第三希望までご記入の上、下記メールアドレスまでご連絡いただけますと幸いです。

PwC中国 日本企業部 担当: 香取 亮 E-mail: ryo.r.katori@cn.pwc.com

*当日ご都合がつかない場合は、担当者が貴社に訪問させていただき相談を承ることも検討させていただきます。別途、個別にご連絡いただけますと幸いです。

*定員になり次第、締め切らせていただきます。

*同業者のお客様からのお申込みは、お断りさせていただいております。ご理解のほどよろしくお願いたします。

お申込み締切日: 8月28日(水)

ご相談対応者のご紹介



PwCあらた有限責任監査法人 執行役常務 リスク・デジタル・アシュアランス担当

PwCビジネスアシュアランス合同会社 代表執行役社長

パートナー 丸山 琢永

PwCあらた有限責任監査法人のリスク・アシュアランス事業のリーダーとして、またPwCビジネスアシュアランス合同会社の代表執行役社長として金融機関および一般事業会社に対する内部監査支援および規制対応支援サービスを提供するとともに、多国籍企業に対する危機対応サービスを提供している。日本国公認会計士。



PwCあらた有限責任監査法人 リスク・デジタル・アシュアランス事業開発部

ディレクター 皆本 祥男

投資ファンド及び不動産運用会社等の資産運用会社に対する会計監査及びアドバイザー業務に従事したのち、不正・不祥事発生企業における不正調査及び不正モニタリング態勢構築支援のプロジェクトに多数従事。

また、省庁等が行う補助事業及び科研費等にかかる経理モニタリング及び不正等防止のための内部管理態勢構築支援業務に豊富な経験を有している。

現在、日本公認会計士協会不正調査専門部会専門委員を務める。日本国公認会計士、公認不正検査士



PwC中国 北京事務所 日本企業部

ディレクター 高谷 将徳

2006年よりPwC中国(上海/北京)にて、会計監査・税務アドバイザー業務に従事。中国における新規進出、事業運営、事業再編、撤退に関して、税務、会計、財務、規制法規の観点から豊富な経験を有する。前職は日本の大手総合電機メーカーにて、2000年から海外投資、M&A、知的所有権ライセンス、中国事業立ち上げ等、幅広く欧米、アジアの海外事業企画に従事した経験を持つ。京都大学総合人間学部卒。米国公認会計士。



PwC中国 上海事務所 日本企業部

シニアマネージャー 高橋 翔太

大手監査法人にて2年間、金融/リース会社及び投資ファンドの監査、財務デュー・デリジェンスに従事した後、2007年10月にあらた監査法人に入所。製造業の法定/IFRS監査、IPO支援業務に従事。2012年よりPwCインドネシアに赴任、ジャカルタ事務所において日本企業のインドネシア投資に対し、会計・税務・法務に係るサポート業務に従事。2013年よりPwC上海事務所へ赴任し、内部監査のサポートや、内部統制関連業務及び財務諸表監査、会計に関するコンサルティング業務を担当。日本国公認会計士。



PwC中国 上海事務所 日本企業部

マネージャー 香取 亮

2010年4月にあらた監査法人(現PwCあらた有限責任監査法人)に入所し、主に東証一部上場のエネルギー会社、情報機器製造会社の財務諸表監査、内部統制監査、米国上場会社の日本法人の財務諸表監査、US-SOX対応に従事。2019年7月よりPwC中国上海事務所へ赴任し、リスクアシュアランス・コンサルタントとして従事。日本国公認会計士。